

案件引継ぎ・業務縮小時のご相談

これまで築かれた信頼関係を尊重し、知財・商標・外国案件を無理なく引き継ぐ受け皿になります

業務縮小、廃業、引退準備、急な事情により、継続案件・期限管理・資料移管・費用精算・依頼者への説明を整理する必要があることがあります。当事務所では、事務所全体の承継に限らず、商標・意匠・外国案件・知財法務を中心とする一部案件の引継ぎ、共同対応、段階的な移行について、秘密厳守でご相談を承ります。

このような場合にご相談ください	当事務所の特徴
・後継者不在・業務縮小・引退準備に伴い、案件の受け皿を探している ・商標・意匠・外国案件・更新管理を、顧客に不安を与えず引き継ぎたい ・従前の先生の関与を残しながら、共同対応・段階移行を検討したい ・急病・事故等に備え、期限管理や緊急時の相談先を確保しておきたい	・弁護士・弁理士として、知財手続と法務対応を一体的に整理できます ・商標・意匠、国際登録、外国代理人対応、英文メールに対応できます ・契約、NDA、警告書、紛争対応など、権利化後の法務まで視野に入れます ・いわゆるブティック型事務所として、代表が直接確認し、事情に応じて柔軟に進めます

先生の想い・関係性を尊重	秘密厳守・初期相談可	一部承継・段階移行に対応	共同対応・報告にも配慮
これまで築かれた顧客との信頼関係、事務所の方針、関係先への配慮を大切にします。	概要段階のご相談も可能です。必要に応じて秘密保持や情報開示範囲を整理します。	事務所全体の譲渡ではなく、商標・更新・外国案件など一部案件から検討できます。	従前の先生のご関与を残す形、報告方法、依頼者説明の進め方も検討します。

対応しやすい引継ぎ・連携の形

1 個別案件の引継ぎ	2 共同対応・伴走	3 整理・受け皿相談
商標・意匠、更新管理、外国代理人対応、中間対応など、一定の案件群を整理して引き受ける形です。	当面は従前の先生と連携し、依頼者への説明、方針確認、報告方法を調整しながら移行します。	期限、未処理案件、預り金・費用精算、資料移管、利益相反・守秘義務を確認し、移行設計を行います。

進め方のイメージ

1 概要確認	2 情報整理	3 形の検討	4 説明・同意	5 実施・報告
対象分野、顧客層、期限、引継希望時期を確認します。	利益相反、守秘義務、費用精算、資料管理を確認します。	共同対応、一部承継、段階移行などを検討します。	依頼者への説明方法と必要な同意を整理します。	無理のない方法で移行し、必要に応じ報告します。

ご相談にあたって

まずは概要のみでも結構です。案件の種類、期限管理の状況、顧客への説明状況、引継希望時期などを伺い、必要に応じて秘密保持、依頼者同意、費用精算、資料移管、預り金、利益相反の有無を個別に整理します。案件の内容・期限・利益相反等により対応できない場合があります。

辻本法律特許事務所 | 弁護士・弁理士・ニューヨーク州弁護士 辻本 希世士

Email: info@tm-pat-law.com | <http://www.tm-pat-law.com/>